

リリース 1.02 から 1.1.1 への Unity Express のソフトウェア アップグレード

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Cisco Unity Express のアップグレード手順](#)

[アップグレードの設定](#)

[手順](#)

[初期設定例](#)

[Cisco Unity Express リリース 2.3.x へのソフトウェア アップグレードの準備](#)

[新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Express ソフトウェアをリリース 1.0.2 から 1.1.1 に、およびリリース 1.x.x から 2.3.x にアップグレードする方法を手順を追って説明します。次はこのドキュメントで説明する重要項目です。

- Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、新しいブート ロードが必要です。新しいブート ロードには ping があり、機能を確認します。
- Cisco Unity Express ソフトウェアをアップグレードすると、既存のデータと設定が消去されます。アップグレード後にそのようなデータの復元が必要な場合、Cisco Unity Express で現在の設定とデータのバックアップを実行します。
- Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、個別のライセンスが Cisco CallManager と CallManager に必要です。

前提条件

要件

アップグレード手順のための唯一の特定要件は、Cisco Unity Express 製品が配置されているのと同じネットワーク上の、FTP または TFTP サーバの可用性です。

使用するコンポーネント

このシステムで使用される唯一のコンポーネントは、アップグレードされる Cisco Unity Express 製品です。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

Cisco Unity Express のアップグレード手順

このセクションでは、Cisco Unity Express リリース 1.0.2 からリリース 1.1.1 にアップグレードを行う場合に必要な、セットアップの条件と手順を詳しく説明します。

アップグレードの設定

- FTP と TFTP サーバは、ソフトウェア ダウンロード用にセットアップする必要があります。
- TFTP サーバと FTP サーバから Cisco Unity Express モジュールに ping を送信できることを確認します。
- ドメイン ネーム システム (DNS) サーバは、初期化時に任意に選択できます。DNS を使用する場合は、続行する前に、PC またはサーバ上に DNS サーバをインストールし、アクティブにしてください。

手順

Cisco Unity Express リリース 1.1.1 へのソフトウェア アップグレードでは、以下の 3 種類のソフトウェア ロード作業が必要になります。

- 新しいブート ローダのロード
- 適切な新しいライセンスのロード
- Cisco Unity Express ソフトウェアのロード

準備

次の手順を実行します。

1. [Cisco.com](#) から、Cisco Unity Express リリース 1.1.1 ソフトウェアと適切なライセンスをダウンロードします。注: Cisco CallManager Express と CallManager では、異なるライセンスが必要です。Cisco Unity Express 1.1.1 ソフトウェアをダウンロードするには、『[Cisco Unity Express - ネットワーク モジュール](#)』 ([登録ユーザ専用](#)) を参照してください。
2. cue-installer.1.1.1 インストール ファイルを TFTP サーバに配置します。
3. FTP サーバに、次のファイルを配置します。cue-boot loader.1.0.17.pkgcue-vm.1.1.1.pkgcue-vm.1.1.1.prt1cue-vm.1.1.1.manifestcue-vm-YY-ZZZ.pkg注: 可変 YY はボイスメールのユーザ数を表し、ZZZ は Cisco CallManager Express または CallManager を表します。

4. TFTP サーバと FTP サーバが起動し実行されていることを確認します。PC の場合、PC 上で TFTP および FTP プログラムがアクティブになっていることを確認します。
5. Cisco IOS® ソフトウェアを使用して、Cisco Unity Express Network Module (NM) 向けに **service-module service-engine <slot/0> session** コマンドを発行します。
6. se-x-x-x-x プロンプトで、Cisco Unity Express NM をリロードするために **reload** コマンドを発行します。注: 最後まで、各手順でモジュールをリロードする必要はありません。
7. 「Please enter '***' to change boot configuration」というメッセージが表示されたら、****?** と入力します。これにより、NM はブート ローダ モードになります。
8. ServicesEngine boot loader> プロンプトで、**config** と入力します。
9. これらのさまざまなプロンプトで、次の情報を入力します。NM IP アドレスサブネット マスク TFTP サーバ アドレスゲートウェイ ルータのアドレス イーサネット インターフェイスは internal です。デフォルトのヘルパー イメージの場合は **cue-installer.x.x.x** を入力し、ここで x は最新のリリース番号を表します。デフォルト ブート diskfor を入力します。


```
IP Address [192.168.2.3] >
Subnet mask [255.255.255.0] >
TFTP server [192.168.1.2] >
Gateway [192.168.2.2] >
Default Helper-file [cue-installer.1.1.1] > Ethernet interface [internal] > Default Boot [disk] >
```
10. システムがフラッシュに情報を書き込み、ServicesEngine boot loader> プロンプトが再度表示されます。 **boot helper** と入力します。NM が、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。

新しいブート ローダのロード

次の手順を実行します。

注: Cisco Unity Express リリース 1.1.1 は、リリース 1.0.2 と異なるブート ローダを使用します。

注: ユーザが y を押した場合、システムはリロードのみ実行します。基本的に、その間のリロードなしで、3 つの異なるロードのすべて (ソフトウェア、ライセンスおよびブート ローダ) を介して入手できます。

1. ServicesEngineinstaller#> プロンプトで、**so i p u ftp://<ftp_ip_addr>/cue-boot loader.1.0.17.pkg** に入ります。ここで、<ftp_ip_addr> はラップトップやサーバなどの FTP サーバの IP アドレスを反映します。
2. primary に「p」を、「Which boot loader would you like to update primary or secondary (p,s) [p]?」という確認メッセージが表示されたときに入力します。ウィンドウでは他のプロンプトを使用します。
3. システムの起動時に、「Please enter '***' to change boot configuration」というメッセージが再び表示されます。ブート ローダ モードに入るために、******* を入力します。注: ウィンドウの上部には、ServiceEngine のブート ローダ バージョンが表示されます。1.0.17 は、NM が現在新しいブート ローダを実行している場合です。
4. ServicesEngine boot loader> プロンプトで、**help** と入力して、新しいブート ローダの機能を表示します。
5. **ping <ftp_ip_addr>** コマンドを発行します。ここで、<ftp_ip_addr> は、FTP サーバの IP アドレスです。システムは、そのアドレスに ping を送信できる必要があります。これは、新しい ping の機能と、それが FTP サーバに到達可能であることを明示します。

[Cisco Unity Express ライセンスのロード](#)

次の手順を実行します。

1. ServicesEngine boot loader> プロンプトで、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動するために、**boot helper** と入力します。注: Cisco Unity Express リリース 1.1.1 では、Cisco CallManager と CallManager Express 向けに個別のライセンスがあります。希望するライセンスを選択します。
2. ServicesEngineinstaller#> プロンプトで、**so i p u ftp://<ftp_ip_addr>/cue-vm-YY-ZZZ.pkg** と入力します。ここで、<ftp_ip_addr> は FTP サーバの IP アドレスを反映し、YY は音声電子メールのユーザ数を反映し、ZZZ は Cisco CallManager または CallManager Express のいずれかを反映します。
3. すべてのプロンプトが表示されたら、**y** を入力します。システムは、Cisco Unity Express イメージをロードする必要があります。

[新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード](#)

次の手順を実行します。

1. ServicesEngine boot loader> プロンプトで、**boot helper** と入力して、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。
2. ServicesEngineinstaller#> プロンプトで、**so i p u ftp://<ftp_ip_addr>cue-vm.1.1.1.pkg** コマンドを入力します。ここで、<ftp_ip_addr> は FTP サーバの IP アドレスを反映します。
3. すべてのプロンプトが表示されたら、**y** を入力します。いくつかの表現方法で表示されますが、システムを実行し Cisco Unity Express イメージをロードしてみましょう。注: ユーザが **y** を押した場合、システムはリロードのみ実行します。基本的に、その間のリロードなしで、3つの異なるロードのすべて(ソフトウェア、ライセンスおよびブートローダ)を介して入手できます。

[CLI の設定](#)

次の手順を実行します。

1. システムが実行され、すべてのプロンプトが表示されたら、**y** と入力します。
2. システムで、セットアップに際していくつかの質問が表示されます。「Would you like to use DNS for CUE (y,n)?」という確認メッセージが表示されたら、**n** を入力します。DNS サーバアドレスは後から入力できます。
3. 次の行が表示されたら、**Enter** キーを押します。Enter IP Address of the Primary NTP Server (IP address, or enter for x.x.x.x)
4. 残りの質問は、地域、国、およびタイムゾーンの設定を行うためのものです。それに応じて情報を入力します。NM は、起動シーケンスを続行します。waiting xx... という行が表示された場合、xx は起動完了までに要する秒数を表します。NM では、通常、起動完了するまでに 130 ~ 160 秒かかります。Advanced Integration Module (AIM) の場合は、通常、起動完了するまでに最大で 500 秒ほどかかります。
5. se-a-b-c-d プロンプトが表示されると、ソフトウェア インストール プロセスは完了し、Cisco Unity Express CLI に入ります。ここで、a-b-c-d は、NM の IP アドレスとなります。
6. Cisco Unity Express プロンプトで、**show software version** コマンドを発行して、適切なソフトウェアがインストールされていることを確認します。これは、**show software version** コ

マンドの出力例です。se-10-10-9-221>**show software versions** Installed Packages: - Core 1.1.1 - Auto Attendant 1.1.1 - Voice Mail 1.1.1 - Boot Loader 1.0.17 Installed Languages: - US English 1.1.1

- 適切なライセンスがインストールされていることを確認するには、**show software license** コマンドを発行します。注: Cisco CallManager 用のライセンスと CallManager Express 用のライセンスとは異なります。

次に Cisco CallManager ライセンスの例を示します。

```
se-10-10-9-221> show software licenses Core: - application mode: CCM - total usable system ports: 8 Voicemail/Auto Attendant: - max system mailbox capacity time: 6000 - max general delivery mailboxes: 15 - max personal mailboxes: 50 Languages: - max installed languages: unlimited - max enabled languages: 1
```

次に Cisco CallManager Express ライセンスの例を示します。

```
se-10-10-9-123>show software licenses Core: - application mode: CCME - total usable system ports: 8 Voicemail/Auto Attendant: - max system mailbox capacity time: 6000 - max general delivery mailboxes: 15 - max personal mailboxes: 50 Languages: - max installed languages: 1 - max enabled languages: 1
```

初期設定例

これは、Cisco Unity Express ソフトウェア リリースをリリース 1.0.2 から リリース 1.1.1 にアップグレードするための設定例です。

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Welcome to Cisco Systems Service Engine

IMPORTANT:: post installation configuration tool.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: This is a one time process which will guide

IMPORTANT:: you through initial setup of your Service Engine.

IMPORTANT:: Once run, this process will have configured

IMPORTANT:: the system for your location.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you do not wish to continue, the system will be halted

IMPORTANT:: so it can be safely removed from the router.

IMPORTANT::

```
Do you wish to start configuration now (y,n)? y Are you sure (y,n)? y A valid configuration has been found in flash. Would you like to use it and bypass configuration? (y,n) n Erasing old configuration...done. IMPORTANT:: DNS Configuration: IMPORTANT:: IMPORTANT:: This allows the entry of hostnames, for example foo.cisco.com, instead IMPORTANT:: of IP addresses like 1.100.10.205 for servers used by CUE. In order IMPORTANT:: to configure DNS you must know the IP address of at least one of your IMPORTANT:: DNS Servers. Would you like to use DNS for CUE (y,n)?n WARNING: If DNS is not used CUE will require the use WARNING: IP addresses. Are you sure (y,n)? y Enter IP Address of the Primary NTP Server (IP address, or enter for 1.3.231.12): Enter IP Address of the Secondary NTP Server (IP address, or enter to bypass): Please identify a location so that time zone rules can be set correctly. Please select a continent or ocean. 1)
```

Africa 4) Arctic Ocean 7) Australia 10) Pacific Ocean 2) Americas 5) Asia 8) Europe 3) Antarctica 6) Atlantic Ocean 9) Indian Ocean #? 2 Please select a country. 1) Anguilla 18) Ecuador 35) Paraguay 2) Antigua & Barbuda 19) El Salvador 36) Peru 3) Argentina 20) French Guiana 37) Puerto Rico 4) Aruba 21) Greenland 38) St Kitts & Nevis 5) Bahamas 22) Grenada 39) St Lucia 6) Barbados 23) Guadeloupe 40) St Pierre & Miquelon 7) Belize 24) Guatemala 41) St Vincent 8) Bolivia 25) Guyana 42) Suriname 9) Brazil 26) Haiti 43) Trinidad & Tobago 10) Canada 27) Honduras 44) Turks & Caicos Is 11) Cayman Islands 28) Jamaica 45) United States 12) Chile 29) Martinique 46) Uruguay 13) Colombia 30) Mexico 47) Venezuela 14) Costa Rica 31) Montserrat 48) Virgin Islands (UK) 15) Cuba 32) Netherlands Antilles 49) Virgin Islands (US) 16) Dominica 33) Nicaragua 17) Dominican Republic 34) Panama #? 45 Please select one of the following time zone regions. 1) Eastern Time 2) Eastern Time - Michigan - most locations 3) Eastern Time - Kentucky - Louisville area 4) Eastern Time - Kentucky - Wayne County 5) Eastern Standard Time - Indiana - most locations 6) Eastern Standard Time - Indiana - Crawford County 7) Eastern Standard Time - Indiana - Starke County 8) Eastern Standard Time - Indiana - Switzerland County 9) Central Time 10) Central Time - Michigan - Wisconsin border 11) Central Time - North Dakota - Oliver County 12) Mountain Time 13) Mountain Time - south Idaho & east Oregon 14) Mountain Time - Navajo 15) Mountain Standard Time - Arizona 16) Pacific Time 17) Alaska Time 18) Alaska Time - Alaska panhandle 19) Alaska Time - Alaska panhandle neck 20) Alaska Time - west Alaska 21) Aleutian Islands 22) Hawaii #? 161 The following information has been given: United States Pacific Time Therefore TZ='America/Los_Angeles' will be used. Local time is now: Thu Nov 6 03:43:07 PST 2003. Universal Time is now: Thu Nov 6 11:43:07 UTC 2003. Is the above information OK? 1) Yes 2) No #? Changing owners and file permissions. Change owners and permissions complete. INIT: Switching to run level: 4 INIT: Sending processes the TERM signal STARTED: cli_server.sh STARTED: ntp_startup.sh STARTED: LDAP_startup.sh STARTED: superthread_startup.sh STARTED: SQL_startup.sh STARTED: HTTP_startup.sh STARTED: \${ROOT}/usr/wfavvid/run waiting 174 ... IMPORTANT:: IMPORTANT:: Administrator Account Creation IMPORTANT:: IMPORTANT:: Create an administrator account. With this account, IMPORTANT:: you can log in to the Cisco Unity Express GUI and IMPORTANT:: run the initialization wizard. IMPORTANT:: Enter administrator user ID: (user ID): **admin** Enter password for admin: (password): Confirm password for admin by reentering it: (password): se-10-10-21-2>

Cisco Unity Express リリース 2.3.x へのソフトウェアアップグレードの準備

次の手順を実行します。

1. Cisco.com から、Cisco Unity Express リリース 2.3.x ソフトウェアと適切なライセンスをダウンロードします。注: Cisco CallManager Express と CallManager では、異なるライセンスが必要です。Cisco Unity Express 2.3.x ソフトウェアをダウンロードするには、『[Cisco Unity Express - ネットワーク モジュール](#)』（[登録ユーザ専用](#)）を参照してください。
2. cue-installer.2.3.x インストール ファイルを TFTP サーバに配置します。
3. FTP サーバに、次のファイルを配置します。cue-installer.2.3.x.cue-vm-installer.2.3.x.ptr1cue-vm.2.3.x.pkgcue-vm-full.2.3.x.ptr1cue-vm-lang-pack.2.3.x.pkgcue-vm-en_US-lang-pack.2.3.x.ptr1CUEEditor2.3.1.exe
4. TFTP サーバと FTP サーバが起動し実行されていることを確認します。PC の場合、PC 上で TFTP および FTP プログラムがアクティブになっていることを確認します。
5. Cisco IOS® ソフトウェアを使用して、Cisco Unity Express Network Module (NM) 向けに **service-module service-engine <slot/0> session** コマンドを発行します。
6. se-x-x-x-x プロンプトで、Cisco Unity Express NM をリロードするために **reload** コマンドを発行します。注: 最後まで、各手順でモジュールをリロードする必要はありません。
7. 「Please enter '****' to change boot configuration」というメッセージが表示されたら、**? と入力します。これにより、NM はブート ローダ モードになります。
8. ServicesEngine boot loader> プロンプトで、**config** と入力します。
9. 表示されるさまざまなプロンプトで、次の情報を入力します。NM IP アドレスサブネットマスクTFTP サーバ アドレスゲートウェイ ルータのアドレスイーサネット インターフェイスは internal です。デフォルトのヘルパー イメージの場合は **cue-installer.x.x.x** を入力し、ここで x は最新のリリース番号を表します。デフォルト ブート diskfor を入力します。

```
IP Address [192.168.2.3] >
Subnet mask [255.255.255.0] >
TFTP server [192.168.1.2] >
Gateway [192.168.2.2] >
Default Helper-file [cue-installer.2.3.1] > Ethernet interface [internal] > Default Boot
[disk] >
```

10. システムがフラッシュに情報を書き込み、ServicesEngine boot loader> プロンプトが再度表示されます。boot helper と入力します。NM が、TFTP サーバからヘルパー イメージを起動します。

新しい Cisco Unity Express ソフトウェアのロード

次の手順を実行します。

1. インストール メニューから最初のオプション、[Install software] を選択します。

```
Welcome to Cisco Systems Service Engine Helper Software
Please select from the following
1      Install software
2      Reload module
3      Disk cleanup
(Type '?' at any time for help)
Choice: 1
```

2. パッケージ名、FTP サーバのアドレス、ユーザ名、パスワードを入力します。Package name:

```
cue-vm.2.3.1.pkg
Server url: ftp://192.168.2.2
Username: admin
Password:*****
Validating package signature ... done
Downloading cue-vm-lang-pack.2.3.1.pkg
Bytes downloaded : 387252
type: application
WARNING:: Software installation will clear disk contents
Continue [n]? y
```

3. 言語選択メニューから言語のバージョンを選択します。Language Selection Menu:

```
# Selected  SKU  Language Name
-----
1           PTB  CUE Voicemail Brazilian Portuguese (2.3.0)
2           ENG  CUE Voicemail British English (2.3.0)
3           DAN  CUE Voicemail Danish (2.3.0)
4           FRA  CUE Voicemail European French (2.3.0)
5           ESP  CUE Voicemail European Spanish (2.3.0)
6           DEU  CUE Voicemail German (2.3.0)
7           ITA  CUE Voicemail Italian (2.3.0)
8           ESO  CUE Voicemail Latin American Spanish (2.3.0)
9           ENU  CUE Voicemail US English (2.3.0)
```

Available commands are:

```
# - enter the number for the language to select one
r # - remove the language for given #
i # - more information about the language for given #
x - Done with language selection
```

>9

4. 言語選択メニューで、選択した項目に「*」が表示されます。メニューを使用して、言語に関する情報を追加、削除、または取得します。終了したら x を入力します。Language Selection Menu:

#	Selected	SKU	Language Name
1		PTB	CUE Voicemail Brazilian Portuguese (2.3.0)
2		ENG	CUE Voicemail British English (2.3.0)
3		DAN	CUE Voicemail Danish (2.3.0)
4		FRA	CUE Voicemail European French (2.3.0)
5		ESP	CUE Voicemail European Spanish (2.3.0)
6		DEU	CUE Voicemail German (2.3.0)
7		ITA	CUE Voicemail Italian (2.3.0)
8		ESO	CUE Voicemail Latin American Spanish (2.3.0)
9	*	ENU	CUE Voicemail US English (2.3.0)

Available commands are:

- enter the number for the language to select one
r # - remove the language for given #
i # - more information about the language for given #
x - Done with language selection

>x システムによって、ソフトウェアのインストールが行われます。インストールの完了後、システムがリロードします。

5. y を入力して、初期設定を開始します。IMPORTANT::

```
IMPORTANT:: Welcome to Cisco Systems Service Engine
IMPORTANT:: post installation configuration tool.
IMPORTANT::
IMPORTANT:: This is a one time process which will guide
IMPORTANT:: you through initial setup of your Service Engine.
IMPORTANT:: Once run, this process will have configured
IMPORTANT:: the system for your location.
IMPORTANT::
IMPORTANT:: If you do not wish to continue, the system will be halted
IMPORTANT:: so it can be safely removed from the router.
IMPORTANT::
```

Do you wish to start configuration now (y,n)? y

6. 応答として y または n を入力します。出力を参照して、必要な設定を確認してください。

```
IMPORTANT::
IMPORTANT:: A Cisco Unity Express configuration has been found in flash.
IMPORTANT:: You can choose to restore this configuration into the
IMPORTANT:: current image.
IMPORTANT::
IMPORTANT:: A stored configuration contains some of the data from a
IMPORTANT:: previous installation, but not as much as a backup. For
```


IMPORTANT:: example: voice messages, user passwords, user PINs, and
IMPORTANT:: auto attendant scripts are included in a backup, but are
IMPORTANT:: not saved with the configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you are recovering from a disaster and do not have a
IMPORTANT:: backup, you can restore the saved configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you are going to restore a backup from a previous
IMPORTANT:: installation, you should not restore the saved configuration.

IMPORTANT::

IMPORTANT:: If you choose not to restore the saved configuration, it
IMPORTANT:: will be erased from flash.

IMPORTANT::

Would you like to restore the saved configuration? (y,n)

7. Cisco Unity Express 管理者 ID を入力します。これは、Cisco Unity Express GUI にログインするためのユーザ名です。 IMPORTANT::

IMPORTANT:: Administrator Account Creation

IMPORTANT::

IMPORTANT:: Create an administrator account. With this account,
IMPORTANT:: you can log in to the Cisco Unity Express GUI and
IMPORTANT:: run the initialization wizard.

IMPORTANT::

Enter administrator user ID:

(user ID): Admin

Enter password for admin:

(password): *****

Confirm password for admin by reentering it:

(password): *****

se-x-x-x-x>

[関連情報](#)

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco Unity Express 2.3 インストールおよびアップグレード ガイド](#)
- [Cisco Unity のインストールとアップグレードに関するガイド](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)